

エ 週末読書

低学年は、週末の時間（金曜日5、6校時）などを有効活用し、定期的に図書室利用をすすめ、読書に取り組み読書習慣を身に付けるようにしている。

② 利用指導

ア 図書館利用指導

- ・ 図書館の正しい利用の仕方を身に付け、主体的に利用できるようにするとともに、資料活用の能力を高める。（図書ファイルの活用）
- ・ 読書指導員や学級担任による図書館指導を行う。



イ 学級文庫の利用

学級担任を中心として月1回選書し、コンテナボックスで学級文庫に配架する。



(2) 学校図書資料の選択・収集・提供

① 図書資料の整備と充実

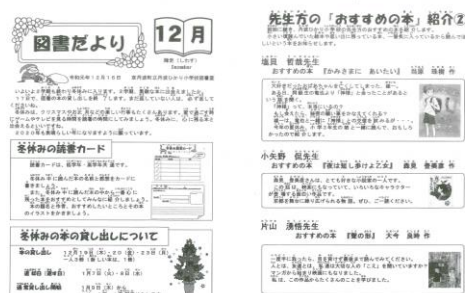
ア 魅力ある図書資料の充実

イ 児童へのレファレンス

② 読書指導員との連携について

ア 図書資料の効果的な活用について

授業で使用する図書や資料等、読書指導員が担任と連携して選書している。



③ 図書だよりの発行

- ・ 図書室の本を児童に紹介することを通して、読書への喚起を図るため、昨年から継続して、毎月図書だよりを発行している。



④ 環境づくり

- ・ 季節に関連した掲示
- ・ 教科書に紹介されている図書のオープンスペースへの配置
- ・ 新書の紹介コーナーの配置
- ・ 絵本コーナーの設置
- ・ 図書（おすすめ）紹介コーナーの設置
- ・ 本の分類表変更「日本十進分類法」の活用
- ・ 新聞の掲示
- ・ 図書の廃棄、新書のブッカー作業



4 子どもの読書活動に対する指導の在り方

(1) 各学級の取組

- ・ 週末読書につなげるため、金曜日に各学年が学級図書と個人の本を選んで借りている。
- ・ 学級ごとに図書係の活動として、読み聞かせをしたり、読書と呼びかけたりしている。
- ・ 特別支援学級の「読み聞かせ会」（生活単元学習・国語科）



自分で本を選んで学級の友達に読み聞かせを行い、感想交流を行っている。

・ 授業の様子

国語科では、学習内容に関連した本の平行読書を行ったり、学習したことを、音読劇で表現したりする場を設定している。



(2) 児童委員会の充実

ア 読書週間の取組

イ 児童委員会の活性化



(3) 学校・家庭・地域における読書活動の推進について

ア 家庭読書・週末読書の実施

イ 読書活動の具体的実践

月・火・木の朝の時間に教職員も含め「読書タイム」の実施



(4) 地域との連携について

ア 朝の読み聞かせの充実

お話支援ジャー（地域学校協働本部 みのり会）の方に週3回（月・火・木）朝の読み聞かせをいただいている。やさしく温かな語りにより、子どもたちもイメージを広げながら聴いている。



イ 夏休みサマースクールにおける「お話会」

夏休みのサマースクールで低・高学年別にお話支援ジャーさんによる「夏休みお話会」を実施し、夏休みにおける家庭での読書に繋げている。



ウ 読書週間における「お話会」

読書の親しみ、いろいろな本に触れることを目的に、「お話支援ジャー」さんによるお話会を11月の読書週間に開催している。

(5) 読書集会

毎年、「子ども読書の日」である4月23日の前後に図書館教育部員による本の紹介を行う。

(6) 読書記録

ア 児童が読んだ本の題名を記録する。

イ 全校で統一した記録用紙を作成し、1年間の読書冊数を記録に残していく。

(7) コンクールへの参加

読書感想文コンクール等、各種コンクールに積極的に参加し、読書に対する意欲を高める。

5 成果と課題

(1) 成果

- ・ 「新教育課程実践研究指定校」として図書室を読書センターの利用だけでなく、学習センターとして授業の中で利用する機会を増やすことができた。
- ・ 関係機関との連携をとることができ、より児童に必要な本を配置することができた。
- ・ 地域との連携や図書委員会の取組により、「読み聞かせが好き」、「本を借りる機会が増えた」という児童が増えてきている。
- ・ 季節に関連した掲示や活動の取組を行うことで、より児童が本を手にする機会をふやすことができた。
- ・ 本の配置を改善したことにより、児童が自分自身で絵本を返却できるようになった。

(2) 課題

- ・ 主体的に学び、自分の思いや考えを豊かに表現する児童の育成をより支援する学校図書館の在り方を追究する。
- ・ 国語科や総合的な学習の時間（みのり学習）等と、図書館活用を関連付けた学習を計画的に実施し、言語活動に生かし、「ことばの力」を高める。
- ・ 児童がさらに図書館を利用し、読書量や読書の質を向上をさせるための“しかけ”を一層工夫する。
- ・ 公立図書館の蔵書や資料の積極的な利用を周知していく。
- ・ 情報センターとしての役割を充実させていく。
- ・ 図書貸し出しの電算化を要望していく。
- ・ 図書室の本を保護する目的でカーテンの設置を検討する。



選書会で児童が選んだ本コーナー



一年生 じどう車くらべ



修学旅行 奈良・三重県コーナー



季節の掲示（4月）